

2025年度

第1四半期決算

期間：2024年10月1日～12月31日

2025年2月13日、ドイツ・ミュンヘン

好調な第1四半期が更なる成長へ弾みをつける

「2025年度に向けて好調なスタートを切ったことで、ステークホルダーの皆様の継続的な価値創造に向けた明確な機運が生まれています。当社のテクノロジーにより、お客様は現実世界とデジタル世界を融合し、競争力、レジリエンス、サステナビリティを向上させることができます。産業用AIにおける当社のリーダーシップにより、現実世界に影響を与えることに大きな牽引力が見られます。」とシーメンスAG代表取締役社長兼CEO ローランド・ブッシュは述べています。

「フリーキャッシュフローは16億ユーロで、前年の業績を大幅に上回り、2025年度の成功に向けた優れた基盤を築きました。イノモティクスの売却による31億ユーロの収益は、当社の財務基盤をさらに強化し、株主の皆様へ長期的な価値を提供するために、実行力に優れた経営を継続してまいります。2025年度の見通しは、当初の計画通りと確認しています。」と、シーメンスAGの最高財務責任者であるラルフ・P・トーマスは述べています。

- ・ 第1四半期の収益は3%増の184億ユーロ、2024年度第1四半期の大量受注による取引量が大幅に増加したモビリティを除くすべてのインダストリービジネスで受注が増加、その結果、シーメンスの総受注額は7%減の201億ユーロ、出荷高に対する受注高の比率（以下、BBレシオ）は1.09
- ・ 比較可能ベースで、通貨換算とポートフォリオの影響を除くと、収益は3%増加、受注は8%減
- ・ インダストリービジネスの利益は25億ユーロ、利益率は14.1%
- ・ 純利益は、イノモティクスの売却による21億ユーロの利益（税引後）により、52%増加し、39億ユーロに。対応する基本1株当たりの利益（EPS）は4.71ユーロ、購入価格配分会計前のEPS（PPA前のEPS）は4.86ユーロ。イノモティクスの売却による利益に関連する1株あたり2.64ユーロを除くと、PPA前のEPSは2.22ユーロ
- ・ 継続事業および非継続事業からのフリーキャッシュフローは、前年比で大幅増の16億ユーロ

シーメンス

(単位：100万ユーロ)	第1四半期		増減%	
	2025年度	2024年度	実績	比較
受注	20,065	21,639	(7)%	(8)%
売上	18,353	17,745	3%	3%
利益 (Adjusted EBITA)				
インダストリービジネス	2,517	2,723	(8)%	
内：退職手当	(78)	(41)		
利益率 (Adjusted EBITA)				
インダストリービジネス	14.1%	15.8%		
退職手当を除く	14.6%	16.0%		
継続事業からの利益	1,801	2,569	(30)%	
内：退職手当	(83)	(51)		
非継続事業からの利益 (損失)、 (税控除後)	2067	(21)	n/a	
純利益	3,868	2,548	56%	
基本1株あたり利益 (単位：ユーロ)	4.71	3.03	56%	
PPA前のEPS (単位：ユーロ)	4.86	3.19	52%	
フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業)	1,584	1,048	51%	
キャッシュ・ コンバージョン・レート	0.41	0.41	0%	
ROCE (継続事業と非継続事業)	29.7%	23.0%		

- ほとんどのインダストリービジネスにおける受注量の増加は、モビリティ部門の減少によって相殺されました。モビリティ部門では、比較基準が非常に高かったため、大量注文による取引量が大幅に減少したと報告されています
- モビリティ、スマートインフラストラクチャー、Siemens Healthineersで明らかな増加が見られたことによる収益の増加。デジタルインダストリーズはオートメーション事業は大幅に減少しましたが、ソフトウェア事業の収益は引き続き増加しました
- 通貨換算とポートフォリオ取引は、前年比での取引量の増加にわずかな影響しか与えませんでした
- インダストリービジネスの利益：オートメーション事業によるデジタルインダストリーズの大幅な減少、スマートインフラストラクチャーが好業績を達成し、インダストリービジネスの利益に最大の貢献を果たしました。Siemens Healthineersは利益を大幅に増やしました
- 2024年度第1四半期の継続事業からの収益には、シーメンス・エナジーAGの株式をSiemens Pension-Trust e.V.社に譲渡したことによる5億ユーロの税引前利益と、それに対応する持分法会計の終了が含まれていました
- 純利益は、非継続事業におけるイノモティクスの売却による21億ユーロ (税引後) の利益を受けて、急激に増加しました
- フリーキャッシュフローの急激な増加は、2024年度第1四半期の13億ユーロに対し、17億ユーロのフリーキャッシュフローを生み出したインダストリービジネスによるものです。最も増加が大きかったのは、厳格な運転資金管理に牽引されたスマートインフラストラクチャーによるものです
- イノモティクスの売却による31億ユーロの多額の収入。これらのキャッシュインフローはフリーキャッシュフローの一部ではありません
- 2024年12月31日現在の年金および同様の債務の引当金は9億ユーロで、2024年9月30日と同じ低水準です
- ROCE：前述のイノモティクス関連の21億ユーロの利益を含め、大幅に増加した純利益は、平均資本使用量の増加により一部相殺されました